

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名: 川崎市子ども発達・相談センター かもみーるかわさき

保護者等数(児童数): 30名 回収数: 30名 割合: 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	29			1	・見学するスペースや保護者も一緒に活動参加できるスペースは良いと思います。	保護者の方にも一緒に療育に参加していただいたり、クラスの人数を適正に調整したりしています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	30					今後も研さんを重ねていきます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	27		2		1		常にわかりやすく、過ごしやすい環境づくりを心掛け、すぐに対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	30					・時々トイレが汚れている時があり、子供が気にしていました。	衛生面、安全面からも、日々の整理整頓や清潔を心がけていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	30						相談支援と情報共有しながら、できるだけ適切な支援計画を作成していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	29				1	・子供との具体的な伝え方を教えてくださり、子供への伝え方を変えることができた。	今後も専門相談や他部門の職員と連携した支援を心がけていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	30						今後も変わらず丁寧に行っていきます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	27		3			・子供が興味を持つワードや活動の工夫がたくさんありました。 ・他の子もいるので仕方ないですが、中には毎回同じと感じている様もあてているものもありました。	今後もお子さんに合わせたプログラムを実施していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12		4	5	9		交流や活動としては今後も予定はありません。必要に応じて地域連携コーディネーターが園訪問を行って連携していきます。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	30						ご不明な点があれば、その都度説明させていただきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	30						ご家庭の意向やお子さんの課題を踏まえた上で、ガイドラインのねらい及び支援内容に沿って計画を立てています。支援内容は丁寧に説明させていただきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	27		3			・自宅での接し方を教えて頂き助かりました。 ・父が参加した時にお話していただいたことは大変よかったです。	施設の構造上、保護者の方を一度に集めてお話しする場面を設定することが難しいため、活動の中でお子さんへの関わり方や声のかけ方、ご家庭での工夫の提案などをその都度させていただきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	30						自由遊びや参観していただいている時間に、保護者の方と情報交換をさせていただいています。成長、変化したことをその都度お伝えしながら、次の課題についてなども共有しています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	30						おおむね3か月の期間、最初と最後には必ず面談をさせていただいています。それ以外にも必要に応じて面談を行っています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5		10	3	12	・同じ幼稚園のお母さんがいたので自然と連携ができました。	父母の会や保護者会の開催は行っていませんが、療育と一緒に参加していただくなど、保護者同士の関わりが持てるように工夫はしています。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	28				2		ご相談内容によりですが、できるだけ迅速にご対応させていただいています。すぐにお答えが難しい場合には、一度お預かりすることもあります。その場合もできるだけ早くお答えできるようにしています。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	30						やることを視覚的にわかりやすく提示しています。保護者向けの情報も見やすい場所に設置しています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	9		4	3	14	・活動内容を毎回プリントとしてあり、帰宅後に家族で共有できよかったです。	毎回、クラスの活動内容はお手紙でお渡ししています。自己評価の結果は法人のホームページに掲載しています。
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	29				1		今後も一人ひとり、意識して扱っていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	26	1		3	・職員訓練の説明はしっかりしていただきました。	事業所入口に「運営規定等の重要事項」というファイルがあり、閲覧自由になっています。今後は、ファイルの所在をあらためて周知させていただきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	16	5	1	8	・利用ひんどうがありません。	職員は年に5回程度の防災訓練を設定、実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	30				・入室を「怖い」と嫌がることもあるが教室のことは大好きで通所をいつもとても楽しみにしています。 ・毎週本当に楽しみにしていました。 ・毎週楽しみにしてくれていました。 ・子どもが安心してすごせる居場所ができて、うれしいです。 ・とても楽しみにしていました。「おやつを食べよう行きたい。」と。	これからもお子さんが安心して過ごす中で、楽しみながら活動に参加することを大切にしていきます。
	23	事業所の支援に満足している	30				・親子共初めての体験がこちらで良かったと思っています。 ・とても感謝しています。 ・親、子ども本当にお世話になりました。ありがとうございました。 ・約3か月という期間は短いと思っています。その後の3か月のフォローはどこまで何をおねがい出来るのか、またはその後フォローをしばらく定期にしてほしいです…。 ・親子共々たすかりました。ありがとうございました。 ・家でよくお話していました。	今後も研さんを重ねていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名:川崎市子ども発達・相談センター かもみーるかわさき

職員数:6名 回収数:6 回答率100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	限られたスペースを物理的に区切り、プログラムによって流動的に使い方を変えるなど工夫しています。	パーティションを使って流動的に空間を区切ったり、利用人数が適正になるように調節したりして、限られたスペースを有効に使えるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	6			今後も適切に配置していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		イラストや文字を使ってわかりやすく示しています。	お子さんに合わせた構造化をその都度考え試しながら、本人が自分でわかって行動できるようにしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	毎日の掃除・消毒を実施しています。棚の上に物を置かない、使わない物はお子さんの目につかないようにしています。	ダイナミックな活動も取り入れられるように更に工夫をしていきたいと思っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	毎日の打ち合わせ、振り返りや日頃のコミュニケーションを大切にしています。	クラス設定上、振り返りがその日のうちにできないことがありますが、業務の効率化を図り改善していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		評価表の内容を職員同士で共有し、よりよい支援に繋がるようにしています。	ご意見に対しては真摯に受け止め、迅速に対応するように努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		保護者向け評価は契約終了時(おおむね3か月)、事業所向けは年に1回実施しています。	年度末に結果を取りまとめ、法人のホームページを利用して情報公開をし、利用者にも周知していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	療育センターと併せて取り組んでいます。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		療育センターや事業所合同での内部研修を実施しています。	人材育成を目的とした研修の体系化を目指していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		専門相談(きつずサポート)からの情報を元に、見学・体験を経て作成しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		専門相談(きつずサポート)で適応行動評価を実施、必要に応じて心理評価も行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		発達支援と家族支援を軸に、地域連携コーディネーターと連携して地域支援も行っています。	今後も他部門の職員と連携してニーズに沿った支援が実施できるように努めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		職員間でしっかり共有して取り組んでいます。	今後も丁寧に取り組んでいきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		担当職員が立案し、振り返りや打ち合わせで内容を検討し、共有しています。	個別支援計画に沿って、その日のねらいや関わりのポイントを絞って支援に当たれるよう努めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		一つ一つのプログラムのねらいをもって検討しています。	日々そのクラス、お子さんに対して適切なものを考えていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6		自由遊び、集団活動、個別活動を組み合わせ、お子さんの課題に取り組んでいます。	日々の記録やねらいを振り返ってその時に最適な活動を検討し、実施出来るように努めています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎回必ず確認しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	基本的には毎回行っていますが、クラスの時間帯によっては後日になることもあります。	業務の効率化を図りつつ、打ち合わせも要点を絞って限られた時間で出来るように努めています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		記録は必ずその日のうちに取るとともに、振り返りも行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリングを支援の報告書としてお渡ししています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		週に1回、児発管が会議に参画しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		行政の専門相談部門と連携しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		モニタリングを必要に応じて利用していただくようにお話しています。	保護者の意向に応じて取り組んでいます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	専門相談部門と情報を共有しています。	保護者の意向に応じて取り組んでいます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	児発管が療育センターと連携して、民間事業所向けに講習を行うなどしています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6	必要に応じて園訪問をしています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	会合には直接参加はしていませんが、行政とのやり取りの中で情報共有はしています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		療育中、その都度、お子さんの状況等を共有させていただいています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		療育の中で、実践的にお子さんへの声掛けやかかわり方をお伝えしています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		契約時に行っています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		療育中、その都度、お子さんの状況等を共有させていただいています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	会合やその支援としては行っていません。	日頃の療育を通じて、保護者同士の関わりが持てるような、また広がるようなお手伝いは努めて行きます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		すぐに対応できるように日頃から準備を整えています。	ご相談の内容によりませんが、できるだけ迅速に対応させていただいています。すぐにお答えできない時は、一度お預かりしますができるだけ早くお答えできるように努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	その日のプログラムの概要、個別のねらいなどを毎回保護者にお配りしています。	リーフレットを作成しているので、関係機関に渡すなどして、徐々に理解を深めていただくよう努めていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		情報管理の徹底、ダブルチェックを行い事故につながらない様にしています。	今後も一人ひとりが重要性を意識して扱っていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		話しかけやすい雰囲気づくり、こちらから気軽に声をかけるなど配慮しています。	今後も丁寧に取り組んでいきます。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	事業所の性質上、行事の設定はありません。	地域に開かれた事業所として、専門相談部門を通して見学などは随時受け入れていきます。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		「運営規程等の重要事項」の中に規程されており、自由に閲覧できるように設置しています。	折に触れて利用者の方には周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		職員間で訓練を実施しています。	今後も取り組んでいきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1	保護者同伴での利用をお願いしています。	必要に応じて取り組んでいきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	食事の機会は設けていません。	必要に応じて取り組んでいきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		事故・ヒヤリハットのファイルを作成し、共有しています。	今後も取り組んでいきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		療育センターと共同で取り組んでいます。	今後も取り組んでいきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	契約時に説明しています。	必要に応じて取り組んでいきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。